

栃木県がまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【連携事業】

幹事市町	真岡市 ※事業主体が地域づくり団体等の場合のみ記載すること。
構成市町	真岡市、益子町、茂木町、市貝町、芳賀町
事業名	はが路ふれあいマラソン
事業主体の名称	はが路ふれあいマラソン実行委員会
代表者の名称	会長 石坂 真一
事業主体の所在地	真岡市下龍谷4412 芳賀地区広域行政事務組合総務課地域振興係
事業主体の概要	・団体の目的:「はが路ふれあいマラソン」を開催し、生涯スポーツを推進するとともに、全国に芳賀郡市の魅力をPRする。地域住民に大会ボランティアとして協力してもらい、地域コミュニティの維持・活性化を促進する。 ・設立年月日:平成25年12月19日 ・構成員等:構成市町、構成市町の教育委員会、体育協会及び観光協会等
当該事業に係る地域の現状と課題	芳賀郡市には多彩な観光資源があり、各市町では観光客を増やすために様々な広報活動や事業を行っているが、全国的な知名度向上の余地は残されている。 若者世代の流出や働き手の希薄化等により、住民の地域活動への参加や自治会加入率が減少傾向にある。地域と住民の繋がりが弱まってしまった結果、古くからの伝統行事が継承されずに途絶えてしまったり、地域行事が廃止・縮小され、子供から高齢者までの世代間交流ができる機会が少なくなってしまうような問題が起きている。 1市4町に誇り、多くの住民の協力を得て開催される「はが路ふれあいマラソン」を、単なる陸上競技として開催するのではなく、芳賀郡市の更なる知名度アップと地域の活力を呼び起こすため材料として、今まで以上に有効活用することが望ましい。
事業目的	ランナー募集や大会実施の広報に併せて、芳賀郡市の観光スポーツや地域の名産品等を全国にPRし、観光事業やUJターンを促進する。また、参加したランナーに、芳賀郡市の景色、住民とのふれあい、様々な味覚を堪能してもらい、その感想をインターネット上で公開されている大会アンケートや、友人知人への口コミ等により広めてもらい、芳賀郡市のイメージアップに繋げる。 自治会等の地域組織に給水所の運営等のボランティア活動に参加してもらうことで、地域行事への住民参加を促進し、地域と地域、住民同士の連帯感を深め、世代間交流、伝統文化の継承、郷土愛の醸成等に寄与する。 直接的には運営に関わることのない住民についても、沿道での観戦、または地元ケーブルテレビや広報誌等で大会の様子を知ってもらうことで、生涯スポーツへの関心を高め、健康づくり意識の向上を図る。 地域の様々な年代・立場の人に大会に関わってもらうことで、この大会を「地域の行事」として定着させ、芳賀郡市内外の大勢の人がふれあい、地域を活性化させる一助とする。
事業概要	「はが路ふれあいマラソン」は、平成26年12月に第1回大会が行われた。本大会は、芳賀郡市1市4町の協同により開催されており、第1回から第5回までは益子町が事務局を担当した。第4回大会からの事務局は、1市4町2年ごとの輪番制となり、第4回から第5回までは芳賀町が担当し、第6回からは真岡市が担当となり、事務局は芳賀地区広域事務組合に置く。本大会の特徴として、競技性の高さよりも地域をあげてのおもてなし、「ランナーと地域住民のふれあい」に重点を置いており、一般財団法人アールビーズスポーツ財団が主催する「全国ランニング大会100撰」に毎回選ばれている。 【令和元年度(第6回大会)】 ・期日:令和元年12月15日(日) ・対象:19歳以上の男女 合計2,500名 ・競技種目:フルマラソン(42.195km) 真岡市の井頭公園をスタート・ゴールとする1市4町を周回するコース。 ○大会前の主な取り組み ①令和元年5月、大会公式ホームページにて情報提供開始。ボランティアの募集や出店案内など、随時情報を提供。 ②令和元年7月、大会パンフレット及びポスターによる大会案内を開始。 ③令和元年11月、参加申込者約2,500名に対し、大会プログラムを併せて宿泊・観光案内等を発送。 ○大会当日の取組 ①会場内の特設コーナー及びコース上の給水所において、番や製など地域の名産品を提供して地域をPR。 ②自治会等の協力の下、コース全域においてお囃子や太鼓などによるランナーの応援を実施。 ③地域の住民や事業所が、各自の創意工夫により私設エイド(有志による非公式的な給水所)を開設し、参加者との交流の中で、「芳賀郡市らしさ」をPR。 【令和2年度】 第6回大会の参加者や協力者等からの意見・要望を基に、第7回大会の開催について実行委員会で検討する。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	真岡市【目標】真岡市へ新しいひとの流れをつくる 【KPI】年間観光客入込数 300万人(平成31年度) 現状値 295.7万人(平成30年度) 定住促進補助事業受給者数 30人(平成31年度) 現状値 0人(平成28年度) 【目標】安心して暮らすやすい地域をつくる 【KPI】自治会加入率 82%(平成31年度) 現状値 76.6%(平成28年度) 益子町【目標】風土に根ざした産業をつくる 【KPI】観光客入込数 240万人(平成31年度) 現状値 186万人(平成27年度) 【目標】社会的に自立した人を育てる 【KPI】地域・社会活動をする人の割合 64%(平成31年度) 現状値 54.5(平成27年度) 【目標】地域資産を蓄積する 【KPI】地域ブランド調査魅力度市区町村ランキング 200位以内(平成31年度) 現状値 459位(平成27年度) 茂木町【目標】安心して定住・交流のできる「まち」をつくる 【目標】観光客入込数 3,000,000人(平成31年度) 基準値 3,073,240人(平成28年度) 【目標】安心して暮らす続けることのできる「まち」をつくる 【KPI】健康体操会員数 400人(平成31年度) 現状値 243人(平成28年度) 市貝町【目標】魅力発信による観光・交流の促進 【KPI】道の駅来客数 28.9万人(平成31年度) 現状値 23.5万人(平成28年度) 着工新設住宅戸数 55戸(平成31年度) 現状値 80戸(平成28年度) 【目標】美しい里地崖山で健康で安心して暮らせる地域づくり 【KPI】自治会加入率 79%(平成31年度) 現状値 62.6%(平成27年度) 芳賀町【目標】芳賀町への新しいひとの流れをつくる 【KPI】15～45歳の移動者数 144人(平成31年度) 現状値 △19人(平成27年度) 【KPI】芳賀町が販売した分譲区画数 50区画(平成28～31年度の累計) 現状値 8区画(平成27年度) 【KPI】積極的な観光情報発信 イベント数 5回(平成31年度) 現状値 4回(平成27年度) 【目標】時代に合った地域づくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する 【KPI】自治会加入世帯数 3,900世帯(平成31年度) 現状値 3,793世帯(平成27年度)

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	・実行委員会の開催 ・大会の広報及び参加者募集 ・パンフレット等の作成 ・大会の開催	・実行委員会の開催 ・大会の広報及び参加者募集 ・パンフレット等の作成 ・大会の開催	・実行委員会の開催 ・大会の広報及び参加者募集 ・パンフレット等の作成 ・大会の開催		・実行委員会の開催 ・大会の広報及び参加者募集 ・パンフレット等の作成 ・大会の開催
事業費	26,817,975	28,665,558	29,150,000	84,633,533	29,150,000
市町支出金 (ソフト事業分)	10,000,000	10,000,000	10,000,000	30,000,000	10,000,000
うち県交付金	5,000,000	5,000,000	5,000,000	15,000,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	16,817,975	18,665,558	19,150,000	54,633,533	19,150,000

幹事市町担当情報

担当課(部署・係)名	
担当者名	
電話	
FAX	
E-mail	

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	真岡市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	はが路ふれあいマラソン	
対象年度	令和元	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
市町村補助金	10,000,000	200万円×5市町(真岡市、益子町、茂木町、市貝町、芳賀町)
参加料	15,000,000	6,000円×2,500人
協賛金	3,000,000	協賛企業等からの賛助金
雑入	174,459	出店料、写真撮影申込金、プログラム等売上金、預金利息等
繰越金	975,541	前年度繰越金
計	29,150,000	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		市町交付金	県交付金		
報償費	6,020,000			6,020,000	競技役員謝金 参加賞・入賞者賞品 スタッフウェア
旅費	10,000			10,000	他大会視察等
消耗品費	1,300,000			1,300,000	事務用品 会場・コース用消耗品
食糧費	800,000			800,000	参加者食糧費(豚汁) スタッフ昼食代等
印刷製本費	50,000			50,000	大会資料等
通信運搬費	30,000			30,000	切手代・通知郵送等
保険料	160,000			160,000	参加者・スタッフ保険料
手数料	160,000			160,000	振込手数料 チラシ新聞折込 仮設トイレし尿処理
燃料費	10,000			10,000	発電機燃料費等
委託料	17,670,000	10,000,000	5,000,000	7,670,000	会場・コース設営業務 警備業務 測量業務 仮設トイレ設置業務 ごみ収集業務
使用料及び賃借料	2,840,000			2,840,000	
備品購入費	100,000			100,000	
計	29,150,000	10,000,000	5,000,000	19,150,000	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(連携事業支出整理票)

科目	予算額 (精算額)	真岡市支出額		自主財源等	益子町支出額		自主財源等	茂木町支出額		自主財源等	市貝町支出額		自主財源等	芳賀町支出額		自主財源等
		県交付金			県交付金			県交付金			県交付金			県交付金		
報償費	6,020,000															
旅費	10,000															
消耗品費	1,300,000															
食糧費	800,000															
印刷製本費	50,000															
通信運搬費	30,000															
保険料	160,000															
手数料	160,000															
燃料費	10,000															
委託料	17,670,000	2,000,000	1,000,000	1,000,000	2,000,000	1,000,000	1,000,000	2,000,000	1,000,000	1,000,000	2,000,000	1,000,000	1,000,000	2,000,000	1,000,000	1,000,000
使用料及び賃借料	2,840,000															
備品購入費	100,000															
計	29,150,000	2,000,000	1,000,000	1,000,000	2,000,000	1,000,000	1,000,000	2,000,000	1,000,000	1,000,000	2,000,000	1,000,000	1,000,000	2,000,000	1,000,000	1,000,000

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。